

人種差別撤廃条約の国連採択 60 周年記念イベント

2025/12/04

国連人権高等弁務官事務所

人種差別撤廃委員会は本日、[人種差別撤廃条約](#)の国連採択 60 周年を記念したハイレベルイベントを開催した。冒頭、ゲイ・マクドゥーガル副委員長は、人種差別撤廃条約の採択は、国連創設からわずか 20 年後に達成された偉業である。ある人の命は別の人の命よりも優れているという虚偽の言説により、命、人生、そして夢を奪われた数百万もの人びとのことを想起し、その悲しみを分かちあいたいと述べ、最後に、黙祷を捧げるよう呼びかけた。また、ナダ・アル＝ナシフ国連人権副高等弁務官は 60 年を経た今も、条約の目的である「あらゆる形態の人種隔離や人種差別のない世界を築くこと」は達成されていない。このような状況のなか、人種差別撤廃委員会の活動は不可欠であると述べた。さらに、ミハウ・バルチェザック委員長は、60 年にわたり、人種差別撤廃条約は、加盟国の憲法改正を促し、国内法の制定を後押しし、市民社会のエンパワメントに貢献してきた一方、構造的で制度的なレイシズムは世界各地で依然として存在していることを指摘し、各国に対し、条約の国内実施を強化し、条約機関のシステムと手続きに全面的に協力することを求めた。その後、3つのパネルディスカッション「条約 60 年：条約の実施・グローバルからローカルまで 一進展と課題」、「人種、皮膚の色、世系又は民族的もしくは種族的出身— 区別のない平等の約束を実現する」、「条約 60 歳 — 現役で活躍する文書：成果を礎に未来を創る」が行われた。

*イベントの様子は UN Web TV からご覧いただけます ([午前部](#)、[午後部](#))。

イベントプログラムは[こちら](#)。

【記事全文】[Committee on the Elimination of Discrimination Commemorates the Sixtieth Anniversary of the International Convention on the Elimination of All Forms of Racial Discrimination](#)